



湖北

電子関係製造業「ワボウ電子」（長浜市平方町）が、製造技術や品質管理のノウハウを生かして養殖した海ブドウを使い、ジェラートを開発した。おうみ海老ステーション（同市元浜町）で販売している。海ブドウは食物繊維やカリウム、マグネシウムなどのミネラルを多く含み、低カロリーでプチプチした食感が特徴。同社は伊吹山系の地下水を利用してオリジナル配合の人工海水を製造し、海ブドウ

を育てている。徹底した水質管理と育成技術で、抗生物質などを使わずに高品質な海ブドウの養殖に成功した。海ブドウならではのほじける食感や風味、生のおいしさを残すためジェラート化を考案。東近江市にある手作りアイスクリーム店「かなめカフェ」の協力を得て、やさしいバニラ味の新食感ジェラートが完成し



近江海ぶどうバニラジェラート
（ワボウ電子提供）

長浜

プチプチはじける新食感 海ブドウジェラート新発売

た。1個600円。

【長浜通信部・長谷川隆広】
（毎日新聞7月17日）

ゲスト審査員にchayさん

長浜きものアワード

長浜

10月に長浜市で開催される着物コンテスト「長浜kimono AWARDS（きものアワード）2026」（同実行委員会主催）で、シンガー・ソングライターのchayさんがゲスト審査員を務めることが決まった。きものアワードは、絹織物「浜ちりめん」の産地である長浜市の着物文化を盛り上げようと、2024年に始まった。服飾系の学生らがデザインした着物ファッションを競う。chayさんはヒット曲「あなたに恋をしてみました」やモデル活動などで知られ、若者に人気がある。若年層への着物文化浸透を図ろうと今



きものアワードをPRする関係者

回、招待が決まった。10月24日に豊公園雁木広場で午後1時から午後5時に開催。一般観覧は「長浜出まつり」ホームページ内の「長浜kimono AWARDS」で申し込みを受け付ける。

【長浜通信部・長谷川隆広】
（毎日新聞8月3日）

湖東

彦根

A-I思考しくみに迫る 滋賀大でパネル展



パネル展示について説明する奥村太一・滋賀大准教授

人工知能（AI）をテーマとしたパネル展「AIのキモチ」が、滋賀大総合研究棟（彦根市馬場1）で開かれている。データサイエンス学部の奥村太一准教授らが監修。「ブラックボックスになりがちなAIの思考や判断のしくみに、多様な角度から迫っています」と来場を呼びかけている。

「信頼できるAIをどう作るか」と題したパネルでは米映画「2001年宇宙の旅」を取り上げ、同作で描かれた「暴走するAIを例示。こうした危機を避けようと現在「Helpful」（役に立つ）、「Honest」（正直な）、「Harmless」（害を与えない）という「HH原則」の下、人間側の調整や作業が続いているという。第1期展は9月30日まで。入場無料。開館時間は平日午前10時～午後4時。

【彦根通信部・伊藤信司】
（毎日新聞7月15日）

推進議連が彦根城視察

世界遺産登録向け

彦根



彦根城（毎日新聞社ヘリから）

彦根城世界遺産登録推進議員連盟（会長＝上野賢一郎厚生労働相）の衆参国会議員15人が7月19日、国宝・彦根城（彦根市金亀町）を視察し、世界文化遺産登録実現などを求める要望書を文化庁の松坂浩史審議官に提出した。

彦根城は1992年、世界

文化遺産の国内暫定リストに載ったが、93年に姫路城（兵庫県）が世界遺産となり、いかに差別化するかが課題となってきた。県と彦根市は5月、通算5回目となる推薦書案を文化庁に提出。文化審議会が審査中で、承認されれば今年度末に国がユネスコに推薦書を提出する。順調に進めば2028年に登録が決まる。

要望書では「彦根城は国宝天守や櫓（やぐら）、御殿跡、重臣屋敷跡などが一体的に残り、『大名統治システム』が全国の城郭の中で最も良く表出している」などと訴えた。

【彦根通信部・伊藤信司】
（毎日新聞7月20日）